

グローバル基準の トレーニング施設で 東南アジアの医師が研修

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社（J&J）が運営する医療従事者向けのトレーニング施設が2017年8月、J&Jのグローバル規格のトレーニング施設「ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート」として新たなスタートを切った。アジアでは11施設。

同施設は14年8月、川崎市の殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」内に開設。低侵襲の外科手術シミュレーション装置、心臓・血管系疾患治療・筋骨格系治療トレーニングのシミュレーター、遠隔映像カンファレンスシステムなど、最先端の医療設備を完備する。

国内外の医師や看護師、研修医をはじめ、視察、J&J社員など、これまで7万人以上が来訪した。そのうちトレーニング

を受講した医療従事者は累計で2万2000人を超えている（17年9月末現在）。

新施設としての研修は、高い技術をもつ日本の医療従事者を講師に、日本の医師や研究者と英語で交流し、学ぶことのできる独自のインターナショナルプログラムが特徴。このほどタイ、ミャンマー、フィリピンの医師9人を受け入れ、研修を行った。



手術シミュレーションルームは実臨床と同様の訓練ができる環境を整備

(C) 2018 日本医療企画.